



2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月2日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 2910 URL https://www.rockfield.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古塚 孝志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 新部 雅彦 TEL 078-435-2800
 四半期報告書提出予定日 2022年12月9日 配当支払開始予定日 2023年1月18日
 四半期決算説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の連結業績（2022年5月1日～2022年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	24,396	6.4	700	△34.9	729	△33.3	457	△37.2
2022年4月期第2四半期	22,926	10.8	1,075	478.4	1,094	226.5	728	180.4

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 481百万円 (△34.3%) 2022年4月期第2四半期 732百万円 (193.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	17.21	—
2022年4月期第2四半期	27.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期第2四半期	35,603	28,751	80.8	1,080.97
2022年4月期	36,502	29,082	79.7	1,093.75

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 28,751万円 2022年4月期 29,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	9.00	—	31.00	40.00
2023年4月期	—	9.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	13.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2022年4月期期末配当の内訳 : 普通配当11円 記念配当20円 (創業50周年記念配当)

3. 2023年4月期の連結業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,257	4.5	2,080	△3.5	2,116	△3.2	1,403	1.7	52.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年4月期2Q	26,788,748株	2022年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	2023年4月期2Q	190,901株	2022年4月期	198,819株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年4月期2Q	26,593,199株	2022年4月期2Q	26,585,743株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は2022年12月5日（月）に機関投資家及びアナリスト向けWEB決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年5月1日～2022年10月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの接種率の向上、「withコロナ」の生活様式への移行に伴う人流の回復などにより、経済活動は正常化しつつある一方、長期化しているウクライナ情勢などによる原油価格や穀物価格の高騰、米国の金利上昇による急激な円安進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

中食・惣菜業界におきましても、原材料価格やエネルギー価格の上昇が影響し、業界全体で価格改定の動きが顕著になるとともに、更なる物価上昇の懸念など先行きへの不安から生活者の節約志向が高まり、厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは2023年4月期を始期とする3ヶ年の中期経営計画の基本戦略のひとつ「新たな顧客接点の拡充」に基づき、居住地近郊エリアへの出店強化として、神戸コロッケ「JR神戸駅店」、グリーン・グルメ「錦糸町テルミナ店」、同「イズミヤ千里丘店」、同「アスティー宮店」を新規出店いたしました。また、9月26日には「ロック・フィールドメンバーズ」の公式アプリを開設し、お客様との長期的な関係性構築へ向け、会社の取り組みやブランド・商品に関する情報を発信するとともに、商品購入などでポイントを貯め、貯めたポイントで特別なグッズや商品と交換できるポイントプログラムを開始いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間から自社ポイントに係る契約負債を「流動負債」の「その他」に計上しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は24,396百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は700百万円(前年同期比34.9%減)、経常利益は729百万円(前年同期比33.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は457百万円(前年同期比37.2%減)となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		2022年4月期 第2四半期(連結)		2023年4月期 第2四半期(連結)		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
RF1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	8,040	35.1	8,353	34.3	103.9
	フライ	2,654	11.6	2,778	11.4	104.6
	その他惣菜	3,542	15.4	3,912	16.0	110.5
	小計	14,237	62.1	15,044	61.7	105.7
グリーン・グルメ		4,521	19.7	4,877	20.0	107.9
いとはん		1,581	6.9	1,736	7.1	109.8
神戸コロッケ		1,203	5.3	1,408	5.8	117.0
融合		485	2.1	467	1.9	96.3
ベジテリア		370	1.6	400	1.6	108.1
その他		526	2.3	462	1.9	87.8
合計		22,926	100.0	24,396	100.0	106.4

なお、当社グループは惣菜事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて899百万円減少し、35,603百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少913百万円、売掛金の減少118百万円、仕掛品の増加161百万円、有形固定資産の減少99百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて567百万円減少し、6,852百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少310百万円、長期借入金の減少270百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて331百万円減少し、28,751百万円となりました。これは主に、配当金の支払による利益剰余金の減少824百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加457百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は80.8%、1株当たり純資産額は1,080円97銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,524	13,611
売掛金	4,223	4,104
製品	68	58
仕掛品	108	270
原材料及び貯蔵品	626	628
その他	201	237
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	19,747	18,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,491	9,366
土地	2,948	2,948
その他(純額)	2,405	2,431
有形固定資産合計	14,844	14,745
無形固定資産		
その他	222	295
無形固定資産合計	222	295
投資その他の資産		
その他	1,711	1,680
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,688	1,657
固定資産合計	16,755	16,698
資産合計	36,502	35,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,268	1,280
1年内返済予定の長期借入金	540	540
未払法人税等	643	333
賞与引当金	723	604
その他	2,757	2,812
流動負債合計	5,933	5,570
固定負債		
長期借入金	1,040	770
その他	446	511
固定負債合計	1,486	1,281
負債合計	7,420	6,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,878	5,882
利益剰余金	17,689	17,322
自己株式	△183	△176
株主資本合計	28,927	28,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	102
為替換算調整勘定	70	75
その他の包括利益累計額合計	154	178
純資産合計	29,082	28,751
負債純資産合計	36,502	35,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
売上高	22,926	24,396
売上原価	9,585	10,474
売上総利益	13,341	13,921
販売費及び一般管理費	12,265	13,221
営業利益	1,075	700
営業外収益		
受取配当金	4	5
保険配当金	11	16
その他	10	14
営業外収益合計	26	35
営業外費用		
支払利息	4	3
解約違約金	1	—
為替差損	0	1
その他	0	1
営業外費用合計	7	6
経常利益	1,094	729
税金等調整前四半期純利益	1,094	729
法人税等	365	272
四半期純利益	728	457
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	728	457

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益	728	457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	18
為替換算調整勘定	2	5
その他の包括利益合計	3	23
四半期包括利益	732	481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	732	481
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,094	729
減価償却費	827	819
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75	△119
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	4	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△675	120
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16	△153
仕入債務の増減額 (△は減少)	79	10
その他	584	△14
小計	1,819	1,391
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△364	△535
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,454	858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△381	△382
無形固定資産の取得による支出	△28	△77
長期前払費用の取得による支出	△61	△88
差入保証金の差入による支出	△3	△24
差入保証金の回収による収入	7	3
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487	△589
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△270	△270
リース債務の返済による支出	△134	△112
配当金の支払額	△292	△822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△697	△1,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	272	△933
現金及び現金同等物の期首残高	13,018	14,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,290	13,191

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「注記事項（重要な会計上の見積り）」に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りに用いた仮定について重要な変更はありません。